

2025年度「防災教育チャレンジプラン」実践活動報告

ジュニア防災リーダー
育成プログラム
「自助から共助へ」



豊見城市立豊崎中学校コミュニティ・スクール



豊崎中学校とコミュニティ・スクール



- 令和6年4月16日開校
- 市内4校目の中学校
- 伊良波中学校から分離
- 生徒371名 職員40名
- みんなで創る！夢・実現する学校
- 校長 大城正篤
- CS会長 仲本豊（自治会長）
- CS委員 15名
- 新しい街づくりが進められる
- 防災拠点の機能を持つ



豊崎中学校が津波避難ビルに指定される

豊崎中学校を津波避難ビルに指定しました!!



津波警報・大津波警報発表時は夜間や休日でも門扉や校舎及び体育館入口の電気錠が自動解錠され、屋上等(避難スペース3階以上)へ避難することができます。

※留意事項※

津波注意報では解錠されません。

(概要)

指定日:令和7年1月14日

収容人数:6,243人

津波避難入口



津波避難スペース(入口)



【お問合せ】
 豊見城市役所総務課防災危機管理班
 電話番号:098-850-8165
 メール:bosai-g@city.tomigusuku.lg.jp



※津波警報・大津波警報発表時は夜間や休日でも門扉や校舎及び体育館入口の電気錠が自動解錠され、屋上等(避難スペース3階以上)へ避難することができます。

※津波注意報では解錠されない。

豊崎中学校 コミュニティ・スクールの方針

「熟議を大切に」



～小さな成功体験を積み重ねよう～

【昨年度からの方向性】

- 令和6年4月3日の台湾東沖地震から、本校の地域的機能や役割について改めて実感
- 地域の防災拠点で学ぶ子供たちに、日頃から防災意識を高め、「自助から共助へ」と地域に貢献できる人材の育成を目指す。



令和7年度 豊見城市立豊崎中学校 防災力向上プログラム始動



豊崎中学校・コミュニティ・スクール



令和7年度「豊崎中学校防災力向上」 の具体的実践計画



- 学校は防災の視点で授業や行事を横断的に考える
- 生徒会活動に防災を担当する部署を置く
- 行政や他機関とのつながりを重視
- 自治会、企業が合同で避難訓練を計画
- PTCA活動とコミュニティ・スクールとの協働

令和7年度「学校行事×防災」の視点を重視！



10の取り組み提案

1. 小中連携教職員研修
2. 学校行事へのアプローチ
3. 地域・企業との連携強化
4. 行政とのタイアップ
5. 生徒の防災意識向上計画
6. 教職員の意識向上
7. 「親子防災教室」の開催
8. 保幼小中合同避難訓練
9. 防災ゲームの活用
10. 自治会との連携強化



1-1. 小中連携合同研修会（防災教育）



1. ねらい

- (1) 豊崎地区の学校職員として、災害・防災等についての知識を備え、減災のために事前に必要な準備をする。
- (2) 児童・生徒や地域の安全を支えることができる能力を身につける。
- (3) 能動的に防災に対応することのできる能力を身につける。

2. 日時 令和7年4月7日（月）

3. 場所 豊崎中学校5階 多目的室

4. 参加者 豊崎中学校職員・豊崎小学校職員 約100名

5. テーマ 「人が死なない防災の実現に向けて～教職員としてできること～」

6. 講師 賀数淳氏（元糸満市消防長、内閣府認定地域防災マネージャー）

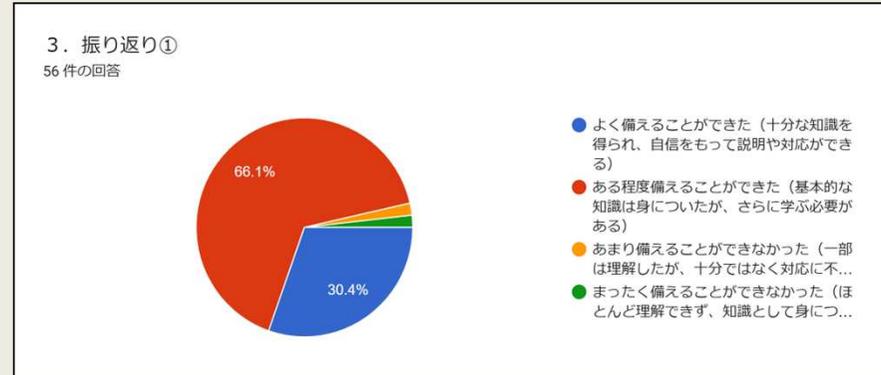


1-2. 小中連携合同研修会（防災教育）

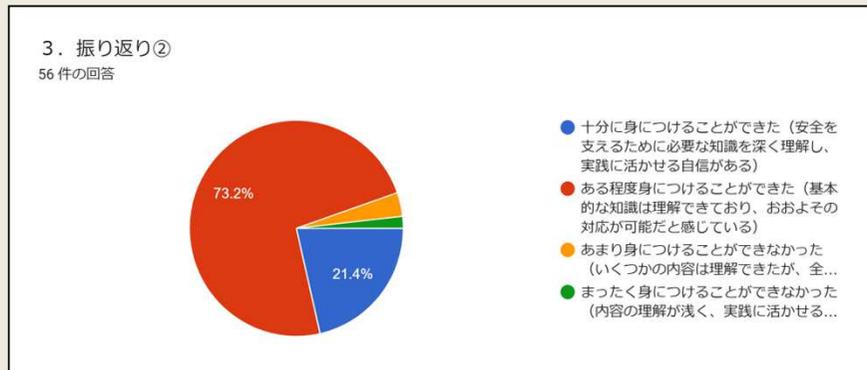
令和7年4月7日振り返り



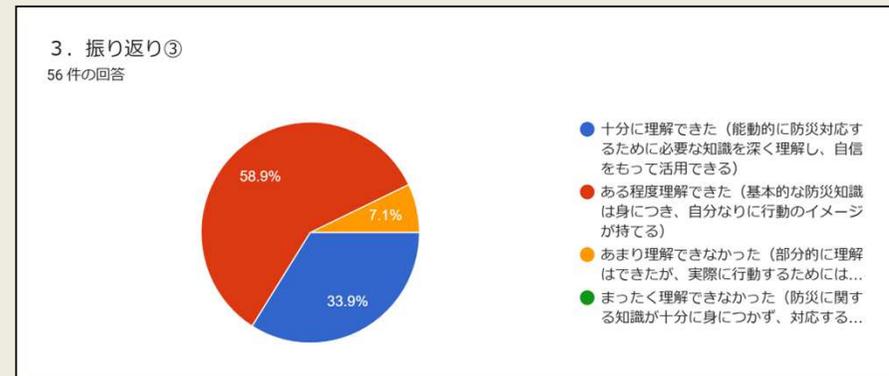
（1）災害・防災等についての知識を備えることができた



（2）児童・生徒や地域の安全を支えるために必要な知識について、どの程度身につけることができたと思いますか。



（3）防災に関する知識を身につけ、自ら考えて行動できるようになるための理解はどの程度深まりましたか





1-3 小中連携合同研修会（防災教育）の振り返り意見集約

※アンケート回答65名の意見を集約

- 防災意識の向上と「自分事」化の必要性
- 「防災＝死なないための行動」という意識改革
- 教師の責任と判断の重み
- マニュアル化と具体的な行動計画の策定
- 危機管理（クライシスマネジメント）の重要性
- 「逃げること」の徹底
- 地域連携と訓練の必要性
- 知識と情報の継続的な学習
- 家庭と学校での防災意識共有
- 新年度初めの研修の意義



「命を守る防災」への意識の変容

2-1. スポレク大会に防災の視点を！

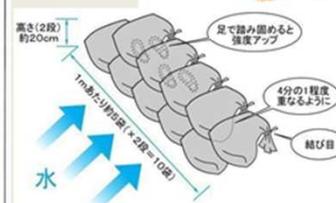
1. 防災リレーのねらい

防災技術と体力を競う、防災スポーツプログラムを実施し、「**火災時の煙避難**」や「**水難の際の救助方法**」、「**負傷者の搬送**」、「**迅速な消火活動**」といった災害時に役立つ様々な防災の知識と技を、競技を通して、実際に体験しながら楽しく競技する。

2. 令和7年6月20日（金）午前中

3. 全校生徒

（各学級をA・B二チームに分けて競う）





2-2. 防災力につながる興味を引く種目

- ①皆で協力！バケツリレーで消火活動！
- ②友達がケガ！仲間で運ぶ徒手搬送！
- ③人が倒れた！命を救う心肺蘇生！
- ④一人で出来る！水消火器！
- ⑤溺れている人がいる！ロープとペットボトルで救助！
- ⑥煙の中をかがんで避難！キャタピラー歩行！
- ⑦身近な道具でけが人搬送！毛布担架！
- ⑧砂嚢で浸水を防げ！一輪車搬送&積み上げ！
- ⑨避難住民をサポート！避難所テント設置！





3-1. 地域・企業との連携強化

- 令和5年3月末に長年務めた消防官を退職したご兄弟
- 在職期間中は、火災・救助・救急現場などあらゆる災害現場活動
- 東日本大震災や熊本地震にも緊急消防援助隊として災害派遣され、被災地での救助活動を行った経験
- 市町村や官公庁における総合防災訓練等の支援
- 全ての現実は、夢から始まる（社訓）
- ミヤクリエイトは地域の課題解決に挑戦



代表社員
宮平 辰義さん

業務執行社員
宮平 辰史さん

防災レクを通して学ぶ

【豊見城】クラス対抗のスポーツレクリエーションの二環として、少し変わった防災教室が6月20日、豊見城市立豊崎中学校であった。1〜3年生の生徒約350人がクイズやリレーで防災について学んだ。

(社会部・滝口信之)

豊見城

豊崎中生、避難ビルの同校で

2024年4月に開校した10台ある「正解は3台」、「豊同校は、市から津波避難ビル 崎地区で津波避難ビルは豊崎に指定されている。津波警報 中だけ」(正解は豊崎中の他、や大津波警報が発令された際 豊見城市民体育館など計9カ所)など10問が出題された。 生徒は〇×形式で答えた。 次はクラス対抗のリレー 防災教室ではまずクイズだ。バケツリレーや救助者の搬送、自動体外式除細動器A



防災リレーで、救助者役の人を運ぶ生徒たち=6月20日、豊見城市立豊崎中学校

救助搬送や消火作業競う

ED)を使った心肺蘇生、消火作業、土のうの積み上げなどリレー形式で競った。

3年の川満悠太郎さん(14)はクイズでは知らないことばかりだったという。「地元避難所が思ったより多くあったので、いざというときに避難できるように、しっかりと把握しておきたい」と話した。津波避難ビルに指定されている同校だが、避難する際は3階以上と定められている。3年の高野心羽さん(14)は「2階以上なら大丈夫だと思っていた。今回学んだことを地域の人にも教えたい」と意気込

防災教室は防災コンサルティング会社「MIYA CR EATE.(ミヤクリエイト)」が監修した。同社代表社員の高宮辰義さんは元消防士で、2016年の熊本地震に派遣され、被災地の現状を目の当たりにした。高宮さんは「災害時は助け合いが重要。子どもたちでもできることがあることを学んでほしかった」と話した。

防災士の資格を持つ内山直美教頭は「今回の防災教室をきっかけに、子どもたちが防災について興味関心を持ってくれたら」と期待した。

地域・企業連携

4. 第19回豊見城市民のための防災講座 「自ら生き抜く力を育む教育」

- 2025年8月18日（月）10:00～12:00
- 豊崎中学校5階 多目的室
- 主催者：豊見城市役所総務課・豊見城市教育委員会
- 若い世代から教育現場まで、幅広い視点から防災について考える貴重な機会となった。



講演2 防災教育の重要性と豊崎中学校の取組み

講師：豊見城市立豊崎中学校教頭 内山直美

昨年新設され津波避難ビルに指定された豊崎中学校における防災教育の取組み、生徒の自主的な探求学習、教職員の防災研修や内閣府の指定を受けて実施する「防災教育チャレンジプラン」、コミュニティスクールにおける防災の取組みを紹介します。

5. 「防災標語」への挑戦

【ねらい】

豊見城市総務部総務課防災危機管理班が主催する「防災・減災」をテーマとした標語コンテストに応募することで、**自分や家族でできること、地域住民が力を合わせてできることを考え、将来の地域防災力担い手となる生徒、ジュニア防災リーダーの育成を図る。**

【取り組み期間】 6月1日～6月30日

【周知方法】生徒会各種委員（掲示・学習委員会）にて、各委員へ周知し、チラシを配布する。

※中学生の部は5名の入賞者すべて本校生徒

防災・減災
標語コンテスト

日本一
安全安心なまち
豊見城市 にしよう!

入賞作品は、防災啓発活動などで使用します。
台風、地震、津波、大雨、雷、熱中症、家庭での備え、
地域での協力、防災情報の大切さなど防災・減災に関する
標語を考えて応募してください。

厳正な審査を経て小学生、中学生の各部門毎に市長賞（1名）、教育長賞（2名）、株式会社RICKA賞（2名）を選定し、表彰状及び記念品を授与します。

応募期間
2025 6.1～6.30

詳細 市ホームページ掲載の募集要項参照
資格 豊見城市に在住の小学生・中学生
作品 一人一作品（未発表のものに限る）

表彰式
8月7日（木）11時 イーアス沖縄豊崎1Fイーアスコート
表彰状、副賞（防災リュックサック）

募集要項・申し込み

お問い合わせ 豊見城市総務課防災危機管理班 098-850-8165
総務省消防庁 自主防災組織等活性化推進事業

共催：豊見城市 豊見城市教育委員会 協賛：株式会社RICKA

5. 「防災標語」表彰者 (記事：琉球新報)

標語コンテスト表彰者一覧表

中学生の部

賞	氏名	学校・学年	標語
市長賞	島袋 ちゅらら	豊崎中学校・3年生	自分の命は自分で守る 今の私が 未来を作る
教育長賞	大石 結月	豊崎中学校・1年生	日頃から確認しよう 避難場所
教育長賞	天願 颯月	豊崎中学校・1年生	備えよう すべてを奪う 災害へ
RICKA賞	具志堅 輝	豊崎中学校・3年生	より高く 逃げる先には 未来あり
RICKA賞	和田 琥珀	豊崎中学校・3年生	知ること 変わる災害と 変える未来



防災・減災標語コンテスト
に入賞した小中学生ら＝豊
見城市豊崎

防災標語 20人表彰 豊見城、小中学生に記念品

【豊見城】豊見城市の小中学生を対象にした2025年度「防災・減災標語コンテスト」の表彰式がこのほど、市豊崎のイーアス沖縄豊崎で開かれた。734作品の応募があり各4部門5作品が選出され、計20人が入賞した。入賞者には表彰状と保険代理店「RICKA(リッカ)」(那覇市、大城拓代表)提供の防災バッグがそれぞれ贈られた。受賞作品は、今後の防災啓発活動に活用される。

中学生の部で「自分の命は自分で守る 今の私が 未来を作

る」で最優秀賞(市長賞)に選ばれた豊崎中3年の島袋ちゅららさんが、受賞者を代表してあいさつ。「今できることを一つ一つ考え、自分の命は自分で守るという意識を持ちたい」と述べた。最優秀賞(市長賞)は次の通り。

(敬称略)

小学生低学年の部・喜納快政(ゆたか小2年)「そなえよういのちをつなぐ ぼくのリュック」▽小学生中学年の部・瀨美颯介(とよみ小3年)「まだだいじょうぶ 思わないですぐひなん」▽小学生高学年の部・井手上瑞采(豊崎小5年)「おばあちゃん 早く逃げよう ぼくたちと」

(田中芳)





6-1. 「津波注意報」時の学校の対応

1. 発生状況：2025年7月30日（水）午前9時50分頃。当日は夏休み中の三者面談開催。
2. 事象：カムチャッカ半島沖で発生したマグニチュード8.8の地震により、市の放送で 津波注意報が流れる。放送内容は「海にいる人は直ちに避難」「自宅にいる方は避難の必要なし」。
3. 対応
 - (1)避難者の受け入れ：近隣の豊崎小学校、保育園、学童等から、総勢300名近くの人々を避難者として受け入れた。近隣住民の避難者は少なかった。
 - (2)学校の対応：三者面談中だったが、職員は避難者の受け入れに対応。面談を継続した学級もあったが、午後からは面談継続の指示が出された。天候は晴れで高温が予想されたため、避難場所を4階と5階に設定した。
 - (3)情報確認と帰宅指示：津波の到達予想時間は午後1時半頃。津波の高さは予想10CM。役所の職員は学校に来なかった。午後2時頃役所に確認し、海岸に近づかないよう注意喚起をした上で、順次帰宅を許可した。



6-2. 一時避難所としての職員の対応

- 避難場所の確保と暑さ対策
- 避難誘導と交通整理
- 避難スペースの整備
- 衛生管理
- 水漏れ対応
- 団体ごとの教室割り当て
- 備蓄品の提供
- 情報提供
- 避難者の生活支援
- セキュリティ解除





7. 「親子防災教室」

令和7年9月2日（火）

～自主防災組織と防災意識の向上～

- 自主防災会の紹介（15分）
 - 共助を意識したジュニア防災リーダーの役割（25分）
- 豊見城市防災マネージャー
松田博之さん
- 生徒のお礼※（3分）
 - PTCA保体委員とのタイアップ

〈生徒からのお礼の言葉〉 3年 松山寧維さん

今日はお忙しい中、防災講話を開いて下さりありがとうございます。豊見城市民である私でもわからなかった豊見城の課題、目標を楽しくわかりやすく学ぶことができました。



また防災に関する取り組みを多く行っている豊崎中の生徒としても、いつ起きるかわからない地震などの災害の危険性や、危険場所、防災弱者を助ける方法をまだまだ知ることや、それを伝えることが大切だと思いました。

「生きるか死ぬかは、日頃の準備」や、「自分の命を守れない人は、他者を助けることはできない」を心にきざみます。

今日は本当にありがとうございます。

9. 「防災ゲーム」の活用

「避難所運営ゲームHUG」

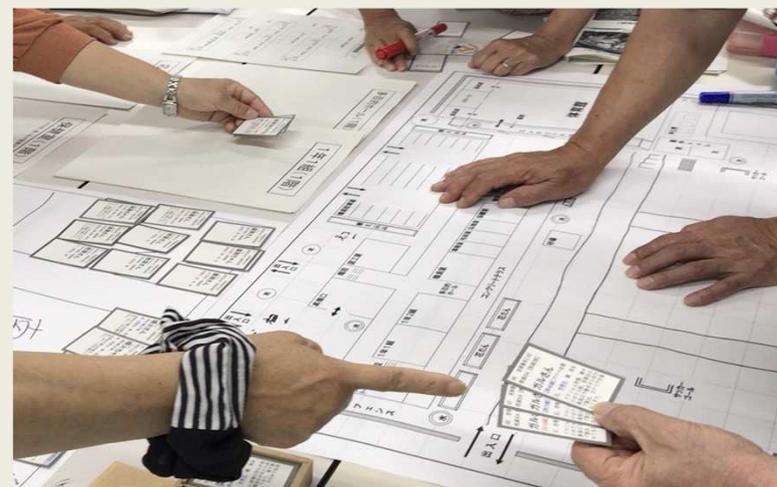
1. 訓練日時 2026年1月15日（木）5・6校時
授業参観・第5回コミュニティ・スクール

2. ねらい

- (1) 災害発生時における避難所運営の課題を理解する。
- (2) 避難者の状況に応じた対応力と判断力を養う。
- (3) 主体的に避難所運営に参加する意識を高める。

3. 実施体制

- (1) 1グループ： 7～8名（内1名は読み上げ係）
- (2) 読み上げ係： グループ生徒 1名
- (3) 職員： グループを巡回し、支援・アドバイスを行う。



82 世帯番号【21】 東池452【東池1班】 とっふう 突風さん 【男51歳】全壊 父、世帯主、妻	83 世帯番号【21】 東池452【東池1班】 とっふう 突風さん 【男76歳】全壊 父、世帯主、妻	84 世帯番号【21】 東池452【東池1班】 とっふう 突風さん 【女49歳】全壊 父、世帯主、妻
世帯主の父は心臓病あり。妻はうつ病。	世帯主の父は心臓病あり。妻はうつ病。	世帯主の父は心臓病あり。妻はうつ病。



令和8年2月15日

10. 豊崎自治会自主避難訓練

1. ねらい

- ①自治会で行う避難訓練の参加を通じて、災害時における安全意識を高め、**生徒自身の防災意識の向上**を図る。
- ②実際の避難行動を体験することで、**災害時に迅速かつ的確に行動**できるようになる。
- ③住民同士や自治会、学校、行政、消防などとの連携を強化し、**災害時に円滑な情報共有と協力ができる**ようになる。

2. 内容

- ①参集訓練（非常階段を利用し屋上へ：入口の確認）
- ②防災講話（3.11東日本大震災の津波被害について）
- ③給食訓練（炊き出し：豚汁）
- ④消火訓練（水消火器） ⑤煙ハウス体験、AED体験



成果と課題

成果

- 生徒の主体性と「**共助**」意識の芽生え
- 実践的なスキルの習得と**リーダーシップ**の発揮
- **多機関との連携**による持続可能な体制構築

課題

- **活動の形骸化防止**と「**質の維持**」
- 家庭・地域への「**防災意識**」のさらなる**浸透**
- 災害時における「**実効性**」の**検証**と**ブラッシュアップ**

学校・地域で「小さな成功体験を積み重ねる」

第19回 豊見城市民のための防災講座 自ら生き抜く力を育む教育

場所：豊崎中学校5階 多目的教室

幼少期からの防災・減災に対する知識を高めることは、将来、子どもたちが災害に強く安全に暮らせる社会を築く上で非常に重要です。学生時代に培った知識や意識が地域の自治会単位に広がることで、豊見城市の防災力の向上につながります。
「自ら生き抜く力を育む教育」を実践し、市全体の防災リテラシーの向上に全力で取り組んでまいります。

8/18
月曜日
10:00~
12:00



講演1 僕が防災士を目指した理由
講師：沖縄工業高等専門学校 1年 備間 凜大良
豊見城中学校3年生の時に市内最年少で防災士の資格を取得。琉球新報社の中学生新聞コンクールに応募し「防災から見た沖縄県の強み」で金賞を受賞。祖父母が長崎県で被災した豪雨体験や防災士としての今後の抱負を語ります。

講演2 防災教育の重要性と豊崎中学校の取組み
講師：豊見城市立豊崎中学校教頭 内山直美
昨年新設された津波避難ビルに指定された豊崎中学校における防災教育の取組み、生徒の自主的な探求学習、教職員の防災研修や内閣府の指定を受けて実施する「防災教育チャレンジプラン」、コミュニティスクールにおける防災の取組みを紹介します。

問合せ：豊見城市教育委員会 豊見城市役所総務課
☎ 098-850-3543 ☎ 098-850-8165

豊見城市
中学生・高校生の参加もお待ちしております。

申し込みQRコード

第27回とみぐすく 市民防災講座

豊崎地区津波避難ワークショップ

令和6年4月3日、沖縄本島地方に津波警報が発表されました。あなたはどこに逃げましたか？ 高台に逃げましたか？ 頑丈なビルに避難しましたか？ 車で移動しましたか？ 防災リュックは持ちましたか？ 一瞬の判断が必要とされる津波、あなたの大切な人の命を守るため、ワークショップを通して「正しい避難」について考えてみませんか？

日時 令和8年1月18日（日）14:00~16:00

会場 豊崎中学校5F 多目的教室

定員 50名




沖縄気象台作成『津波避難ワークショッププログラム』を用いて行います。

お申込み QRコード

お問い合わせ

豊崎中学校PTCA
保健体育・研修部 部長
西銘 司（防災士）

098-850-8165 市役所総務課防災危機管理班

豊崎式津波避難モデル（TTHM）を検証します。

優先順位① 豊崎地区在住の住民
優先順位② 豊崎地区に勤務する方
優先順位③ 豊崎地区に親戚がいらっしゃる方

車を問わず徒歩での避難を！

2025年度
ジュニア防災リーダー
育成プログラム
「自助から共助へ」



ご清聴ありがとうございました